

第2章

AI・データサイエンス (Si データサイエンス教育プログラム)

学習内容・目標

- (1) ビッグデータや AI によって駆動される現代の情報化社会に変化について理解すること
- (2) AI・データサイエンスに関する動画を視聴して理解すること
- (3) 生成 AI の利用・注意点を理解すること

1 数理データサイエンス学修動画

本章は、AIに関する動画を視聴し、教員から指示された方法で課題を提出すること。個人で視聴する場合は、専修大学 Gmail のアカウントでログオンする必要があります。

NO.	テーマ	講師	長さ
1-1	社会で起きている変化	沼晃介 (ネットワーク情報学部准教授)	14 分
1-2	社会で活用されているデータ	中原孝信 (商学部教授)	15 分
1-3	データ・AI の活用領域	中原孝信 (商学部教授)	15 分
1-4	データ・AI 利活用のための技術	中原孝信 (商学部教授)	18 分
1-5	データ・AI 利活用の現場	中原孝信 (商学部教授)	18 分
1-6	データ・AI 利活用の最新動向	沼晃介 (ネットワーク情報学部准教授)	20 分
3-1	データ・AI を扱う上での留意事項	沼晃介 (ネットワーク情報学部准教授)	17 分
3-2	データを守る上での留意事項	石井健太郎 (ネットワーク情報学部准教授)	13 分
4-1	生成 AI(1) – 生成 AI とその利用例 –	高橋裕 (商学部教授)・中原孝信 (商学部教授)	12 分
4-2	生成 AI(2) – 利用する上での注意点 –	高橋裕 (商学部教授)・中原孝信 (商学部教授)	13 分
4-3	生成 AI(3) – 学生に期待すること –	高橋裕 (商学部教授)・中原孝信 (商学部教授)	10 分

2 専修大学での AI の利用について

AI 等の利用について、専修大学では以下の文書がだされています。(いずれも、専修大学 Gmail でログオンする必要あり)

- [20230406【学生各位】ChatGPT 等の AI チャットボットの利用について](#)
- [20231103【専修大学】生成A I の取扱いに関するガイドライン.pdf](#)

利用するにあたり、【学生各位】あての文書は読んでおいてください。

専修大学では、データ保護機能が備わっているとされている生成 AI を利用できます。

[202411【学生各位】データ保護機能のある生成A I サービスの提供開始について](#)。

- Microsoft Copilot
 - <https://copilot.microsoft.com/>にアクセスし、大学用アカウントでログインします。
 - 大学用アカウント:ユーザ ID@edu.senshu-u.ac.jp
 - 「エンタープライズデータ保護」の機能があり、**ユーザごと**にデータが保護されます。
- Google Gemini
 - <https://gemini.google.com/> にアクセスし専修大学 Gmail のアカウントでログインします。
 - 「データ保護」の機能があり、**組織ごと**にデータが保護されます。
 - Gemini を利用した場合、あなたのレポート等でのアイデアが学習され、他の専修大学の学生の生成 AI の出力に反映される可能性があります。
- 一般に生成 AI では、入力した内容が他の利用者の出力にどのように反映するのかブラックボックスです。個人情報、機密情報、秘密にしておきたいアイデアなどは入力しないようにしましょう。